

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
平成26年度活動報告書



認定NPO法人認定記念事業「アルテ文庫」

「アルテ文庫」とは、彫刻家・安田侃さん自ら選んだ書籍が並ぶ、アルテピアッツァ美唄の中の小さな図書館のこと。書棚に並ぶ本は皆様からのご寄附で購入していきます。つまり、寄附が集まるたびに、本が増えていく、という仕組みです。

並んでいる本は、彫刻、絵画、現代美術…とジャンルも時代も様々ですが、アルテ文庫の最大の特徴は、並んでいるすべての書籍を“安田侃さんが自ら選んだ”ということです。また、書籍について紹介するカードも作りはじめました。「ファッツィーニ展」の紹介カードには、若き日の安田侃さんとイタリア具象彫刻を代表する作家・ペリクレ・ファッツィーニ氏とのエピソードが書かれています。「どれから読んでいいか、わからない…」という方はぜひ、紹介カードを参考にしてください。その他、子供でも楽しめる絵本もありますので、ぜひお手にとって見てみてください。

「アルテ文庫」は木造校舎2階ギャラリーにあり、皆様からのご寄附でこれからも充実していきます。書籍はどなたでもご覧いただけますので、アルテにお越しの際はぜひお立ち寄りください。








ギャラリー

カフェアルテ・体験工房

アールスペース

その他

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

	4月13日 認定NPO法人記念イベント 「アルテピアッツァ美唄 バトンを未来に」	5月17日 林峰男チェロリサイタル	5月11日 てくてく美唄炭鉱桜の我路編
	6月22日 第18回アルテの「森語り」	6月7日 第28回「森の広場の音楽会」	7月27日 たんこうスケッチツアー
	6月25日 中西圭三コンサート「美しい唄 2014」	7月19日 「アルテの四季コンサート」 2014夏	8月13日 アルテの盆踊り
	6月29日 「ポポロミーティング」	7月21日 PMF2014美唄公演 「アンサンブル演奏会」	
8月1日～31日 思い出の炭鉱写真展	7月19日～21日 安田侃の「こころを彫る授業」	8月9日・16日 「炭鉱映像館」	8月31日 てくてく美唄炭鉱三井美唄編
		8月17日 北海道文化財団20周年記念企画 アートフェvol.15 アン・サー「森のコンサート」	
10月5日 「アルテ文庫」除幕式	9月21日 第19回 アルテの「森語り」	8月18日 青葉市子アワぶくツアーツアー	10月26日 秋のポポロウォーキング
	12月23日 第20回 アルテの「森語り」	8月25日 イリス弦楽四重奏団 アルテピアッツァコンサート	
		10月13日 「うずしおカルテット・プラス・ワン」 コンサート	
2月7日～3月11日 美唄市内小学校 絵画・書道展	2月14日～22日 アーカイブ資料公開	10月25日 第29回「森の広場の音楽会」	
	3月27日～29日 小学生のための「こころを彫る授業」	10月31日 「アルテの四季コンサート」 2014秋	

1 施設および環境の維持・管理・保全 (美唄市指定管理者事業)



今年度は、春の雪融けから紅葉までの季節の推移が例年より早く、「水の広場」の清掃や草刈りといった日々のメンテナンスは、常に天候状況を読みながらの作業となりました。園路の雑草抜きや秋の落ち葉拾いは、今年もボランティアの方々と共に「クリーン会」として毎週土曜日(4~9月、10月は毎日)に行いました。

また、彫刻作品を適切に管理していくた

め、株式会社パーフェクト・ウォッシュ様(横浜市)から、より専門的な白大理石彫刻のメンテナンス方法を学び、日々実践しています。一方、施設整備の面では、美唄市と協議を行い「音の広場」の「天秘」があるウッドデッキの補強、ギャラリーの螺旋階段のさび止めやカフェの玄関アプローチの塗装を実施しました。また、強風が相次ぎ、敷地内の樹木に損傷が多く、危険なものは、広瀬建設工業

株式会社様(美唄市)のご協力をいただき、伐採しました。

夏には敷地内にクマが数回出没し、敷地一部を閉鎖し、注意喚起の看板設置や一日三回の爆竹発火を行いました。来訪者にアルテピアッツァ美唄の美しい景観を楽しんでいただきつつも、お客様の安全面を最優先に考慮しなければならないことを再確認した一年となりました。

2 来訪者やお客様との対応 (美唄市指定管理者事業)

来場者は四季を通し、道内外より約3万人の方々にお越しいただきました。四季の移り変わりを楽しみにお越しくださる方も多く、アルテピアッツァ美唄に流れる心地よい時間を過ごしていただけるようなご案内を心がけました。また、希望される団体へはアルテピアッツァ美唄の概要をご説明し、個人での再訪につながるよう努めております。

団体での来場者数は、9月だけでも36組、年間約5000人にのぼり、旅行会社企画のツアーでお越しくださるお客様にも、アルテピアッツァ美唄へのご理解とご協力をいただけるよう、スタッフが説明する機会を積極的にいただきました。また、小中学校、幼稚園の遠足や社会見学でのご利用も多かったです。そして札幌で7~9月に開催された札幌国際芸

術祭の期間中は、道外、海外からも多くのお客様が見えました。多くの方にお越しいただく一方で、他のお客様の鑑賞の妨げになる行為をされる方には、この場所が「みんなの広場」であることをご理解いただけるよう、お伝えしてきました。多種多様な目的を持って来られるお客様ひとりひとりにとって、過ごしやすい場所であることを心がけております。

3 コンサート・イベント・展覧会 (美唄市指定管理者事業)

彫刻作品の展示空間としてご覧いただいていますアートスペース(旧体育館)では、今年度は、プロ・アマ問わず、18のコンサートが行われました。世界的に活躍されるの方々によるクラシック音楽のコンサート、美唄市内のピアノ教室発表会の他、コンテンポラリーダンスと詩の朗読の公演や子ども向けの演劇公演など、彫刻のある大きな空間全体を舞台として催されるイベントもありました。

木造校舎2階奥の教室はギャラリーとしてご利用いただいています。絵画、陶芸、写真など様々なジャンルによる展覧会が行われました。また、例年行っています美唄市内の小

中学生の各作品展は地元の方だけでなく、市外からお越しのお客様にも好評です。

アルテピアッツァ美唄の空間の一部であるアートスペース、ギャラリーのあり方をご理解いただきながら、利用者話し合い、双方にとってより良いかたちでイベントや展覧会を開催していただけるよう努めました。また、体験工房スタジオアルテは、コンサートやワークショップの会場としての利用も増え、8月にはフラメンコライブが行われるなど、活用の幅は更に広がりつつあります。今年度は、美唄市の行事や会議場としての利用もあり、道内だけではなく、道外からも多くのお客様を

お迎えした中で、7月にはイタリア大使来訪の際の昼食会場として利用されました。



4 「こころを彫る授業」 (体験工房スタジオアルテ活用)

毎月第一土日に開催する「こころを彫る授業」は、誰もが参加できる彫刻の授業です。石と向き合うことで自分と向き合い、目にみえない自身のこころが「かたち」となることを目指します。

今年度、「こころを彫る授業」にはのべ230

名の方が参加してくださいました。また、7月には彫刻家の安田侃さんが講師をする「安田侃の『こころを彫る授業』」を3日間開催し、道内外から80名の方にご参加いただきました。「小学生のための『こころを彫る授業』」は、児童の春休みにあわせて3月に3日間開催しました。

年々、認知度が高まってきた「こころを彫る授業」ではありますが、さらなる参加を呼びかけるため、市内でのお祭りや、近隣の大学でのイベントなどで紹介ブースを設け、積極的に広報しました。

5 アルテ文庫

2014年2月に当法人が認定NPO法人へステップアップしたことを記念して、支援して下さる方と一緒に形に残るものをつくりたい、と立ち上げたのが「アルテ文庫」プロジェクトでした。

アルテ文庫は、いただいた寄附により書籍を購入し、本棚がより充実したものになります。また、寄附金は認定NPOへの寄附として、確定申告をすると税制優遇措置の対象になります。

4月にプロジェクトを発足し、36名の方より669,000円の寄附をいただきました。10月5日にアルテ文庫除幕式を行い、寄附者をはじめ約30名が見守る中、ギャラリー(木造校舎2階)にオープンいたしました。本棚には安田侃さんセレクトの書籍が約180冊並び、ゆっくりと楽しめる来館者や、この本を楽しむために足を運んでくださる方も増えてきています。



6 情報発信

アルテの“いま”を伝えようと、年に2回発行している「アルテ通信」。今年度、基本情報をより充実させ、大幅にリニューアルし、6月と9月に発行しました。アルテ市民ポポロの方々はもとより、全国の主要な美術館などにも配布し、初めて手にとった方でも、アルテピアツァ美唄の魅力を知っていただく機会となりました。

ホームページや日々の事をお知らせするブログの更新も定期的に行いました。また、試験的に導入しているソーシャルネットワークサービス「Facebook」のアクセス数も好調で、さらなる広報ツールとして今後の活用を期待しています。

7 アーカイブ

昨年度よりスタートしましたアルテピアツァ美唄のアーカイブ事業は、前年に作成されたデータベースの精度向上とアーカイブ資料の活用をすすめました。

データベースの精度向上については、入力された資料を見直し、1資料に付随する情報をより詳細に記録、現像されたフィルム写真などデータ化するなど、将来的に使いやすいデータベースとなるよう、現在も作業中です。

アーカイブ資料の活用としては、2月にアルテ市民ポポロの皆様と美唄市役所職員向けに一部資料公開を行いました。過去新聞のアル

テ関連記事やアルテの日々を記録したブログ、歴代のカレンダー、イベント等の映像資料を閲覧できるかたちで用意し、会期中はのべ100名程の方にお越しいただきました。なかには、何度も足を運んでくださる方もいらっしゃいました。また、この資料公開により、今後どのようにアーカイブ資料を活用していくべきか、皆様から貴重な意見も伺うことができました。

8 炭山(やま)の記憶

お盆には、かつて美唄炭鉱に縁があった方が多く帰省され、当法人では、「お帰るなさい」の気持ちをこめて、毎年この時期にギャラリーで「思い出の炭鉱写真展」を開催しています。今年は「思い出地図」と題し、写真だけではなく炭鉱があった当時の地図を掲示しました。

会場に付箋を用意し、訪れてくださった方の「思い出」を書いて、地図に貼っていただくことで、会期初日は真っ白だった地図も、会期終了の頃にはたくさんの思い出に彩られた、とても賑やかな地図に変身しました。8月1日～31日までの会期中には、3704名という大勢のお客様にご覧いただくことができました。

また、写真展開催にあたり、関連企画を多数開催いたしました。三菱美唄炭鉱がある東美唄の中でも一大商店街であった我路町を、当時を知る方と共に散策した「てくてく美唄炭鉱～桜の我路編～」(5月11日)。美唄の炭鉱遺産をバスでめぐりながら、各所でスケッチを行った「たんこうスケッチツアー」(7月27日)。美唄市在住の金沢俊美さんが制作した映像を上映した「炭鉱映像館」(8月9日、16日の2日間)。炭鉱があった頃に人々の大きな楽しみであった地域の盆踊りをアルテで継承していく「アルテの盆踊り」(8月13日)。美唄にあったもう一つの巨大炭鉱町三井美唄(現南美唄町)

を歩く「てくてく美唄炭鉱～三井美唄編～」(8月31日)では、当時三井に住んでいたという参加者が多く、総参加者数は50名近くにのぼりました。

今年度の開催にあたり、空知総合振興局からは「そらち『炭鉱(やま)の記憶』提案活動協働実践事業」によるご支援、美唄市教育委員会と美唄市郷土史料館からも多大なるご協力をいただきました。そして、盆踊りで灯すキャンドルの制作や、各行事におけるボランティア、写真提供などにも、美唄市内外問わず、多くの方々の力をいただくことができました。

9 カフェアルテの運営

アルテピアッツァ美唄での時間をゆっくりと過ごしていただきたい、とオープンした「カフェアルテ」も、8年目を迎えました。いつ来てもコーヒーやケーキを愉しんで頂けるよう努めました。

冬期メニューである美唄産かぼちゃ「ぬくもり」を使った「かぼちゃスープ」は、冬のカフェアルテの目玉として定着してきたのか、今年度は2月半ばで終了してしまうほどのご好評をいただくようになりました。

また、カフェアルテで開催する朗読会「アルテの森語り」は、12月で開始より20回目を迎え

ました。毎回、季節の節目に、カフェの特別な時間をお客様に過ごしていただけるよう、おもてなしの気持ちを大事にしています。

一方で、今年度より消費税の増税および、バターや小麦などの原材料の高騰に伴い、ポコポコぱんやケーキといった、一部メニューの値上げを行いました。また、今年度はかねてよりの課題であった各種機器のメンテナンスを進め、夏場のテラス席を快適にご利用いただけるようハチ・アブ駆除に力を入れました。



10 書籍・グッズ

今年度は、春から販売を開始しましたトートバッグ200枚以上、Tシャツ130枚以上と、売れ行きが好調でした。「アルテ来訪の記念に」と、お客様から多くの支持を集めました。

また、毎年大好評いただいていますカレンダーにつきましては、2015年版を制作し、800部余りを販売いたしました。今年度は紅葉で賑わう頃から店頭販売を開始したため、より多くのお客様にカレンダーを手にとりご覧いただくことができました。

書籍・グッズはアルテピアッツァ美唄にとって貴重な財源のひとつですが、売れることだけを最優先にせず、質の高いものを提供できるよう、今後も慎重に検討をすすめてまいります。



11 連携・協働事業

7月20日、PMF組織委員会との協働事業として、「PMFアンサンブル演奏会」を開催しました。今回で3回目となる公演には、北海道内外からたくさんのお客様にお越しいただき、当日券が売り切れるほどの盛況ぶりでした。一方で、暑さ対策やお客様の誘導案内の方法等、検討すべき課題も見えてきました。また、公演当日は、アルテ市民ポポロの皆様をはじめとしたボランティアスタッフの方々に「場内案内」「チケットもぎり」など、運営に協力していただきました。

12 アルテ市民ポポロ活動

イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティが「アルテ市民ポポロ」です。ポポロが増えることで、未来へのバトンは確実なものになっていきます。来場者への呼びかけやリーフレット配布など積極的な広報を行い、新規参加を増やすよう努めました。

今年度より、アルテピアッツァ美唄のことをより深くお伝えできたらと「ポポロだより」を創刊し3号をお届けいたしました。その他、市民証やクリスマスカードはポポロの皆様だけにお届けしております。

6月29日にはスタジオアルテにて「第5回ポポロミーティング」を開催し、第一部に活動報告、その後は「ポポロが描くアルテの未来ワークショップ2」と題して、アルテピアッツァ

美唄をこれからも未来へ繋げていくために、自由な発想で意見を出し合うワークショップを行いました。

10月26日に実施した「秋のポポロウォーキング」では林業試験場の南野一博氏のガイドで、普段は歩けないアルテピアッツァ周囲の森を歩き、散策後は美唄ポポロの方が作ってくださった美味しい豚汁で温まりました。

2月にスタジオで行った、アーカイブ資料公開は主にポポロの皆様にお知らせし、ご覧いただきました。アルテピアッツァ美唄が好きな人同士が顔を合わせ、話せる場所をこの先も作っていきたいと考えています。



活動計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,467,000		
美唄ポポロ市民会費収益	54,000		
コポポロ市民会費収益	2,000		
会員会費収益	160,000		
団体会費収益	810,000	2,493,000	
2. 受取寄附金			
募金箱寄附	1,034,765		
寄附金	1,693,564		
アルテ文庫寄附	669,000	3,397,329	
3. 事業収益			
指定管理者事業収益	18,242,060		
工房活用事業収益	1,208,200		
広報事業収益	10,000		
炭鉱の記憶事業収益	112,440		
喫茶事業収益	8,642,546		
販売事業収益	3,647,177		
連携事業収益	116,000		
アルテ市民popolo事業収益	8,900	31,987,323	
4. その他収益			
受取利息	1,992		
雑収益	23,330	25,322	
経常収益計			37,902,974
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	16,887,667		
(2) その他経費	17,424,912		
事業費計		34,312,579	
2. 管理費			
(1) 人件費	247,315		
(2) その他経費	4,657,478		
管理費計		4,904,793	
経常費用計			39,217,372
税引前当期経常増減額			-1,314,398
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			-1,394,398
前期繰越正味財産額			8,391,937
次期繰越正味財産額			6,997,539

事業別事業費内訳

科目	指定管理	工房活用	アルテ文庫	広報	アーカイブ	炭鉱の記憶	喫茶	販売	連携	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費												
給与手当	8,899,564	1,034,637		413,857		283,652	4,394,068		3,000		180,000	15,208,778
福利厚生費	947,020	306,581					605,288				67,315	1,926,204
人件費計	9,846,584	1,341,218	0	413,857	0	283,652	4,999,356	0	3,000		247,315	17,134,982
(2) その他経費												
売上原価		84,000				81,957	2,248,634	832,339				3,246,930
業務委託費	3,075,421				545,000	53,500					2,298,297	5,972,218
諸謝金				11,025		47,887	33,411				11,137	103,460
印刷製本費		15,400	11,600	372,122		63,990		8,964		51,120	53,672	576,868
旅費交通費		1,120		10,880		11,240		3,840	920		64,830	92,830
通信運搬費	266,364	46,550	9,552	98,829			155,236	49,028		355,342	200,445	1,181,346
消耗品費	354,467	324	96,528		7,756	33,546	186,674	50,430	8,493	9,906	284,705	1,032,829
修繕費	240,384										41,917	282,301
水道光熱費	5,105,381						311,431				78,918	5,495,730
地代家賃							120,000				388,000	508,000
減価償却費			119,880				134,836	344,182				598,898
繰越資産償却費											951,810	951,810
保険料	77,190	1,500				3,110	2,670		1,020	1,000	26,370	112,860
諸会費							4,000				28,000	32,000
研修費				1,500							42,486	43,986
慶弔費											30,000	30,000
租税公課	683,650	44,500				3,100	251,800	58,000	2,000		10,400	1,053,450
新聞図書費			175,700									175,700
賃借料												0
支払手数料											124,200	124,200
雑費	342,705	3,348	756	432		6,156	17,468	13,490	6,130	54,198	22,291	466,974
その他経費計	10,145,562	196,742	414,016	494,788	552,756	304,486	3,466,160	1,360,273	18,563	471,566	4,657,478	22,082,390
事業費計	19,992,146	1,537,960	414,016	908,645	552,756	588,138	8,465,516	1,360,273	21,563	471,566	4,904,793	39,217,372

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一	沿革
理事 16名	平成17 (2005) 年 4月 設立総会
監事 2名	平成17 (2005) 年 8月 NPO法人認証
スタッフ 常勤6名	平成18 (2006) 年 4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
	平成19 (2007) 年 4月 カフェアルテ、スタジオアルテ (体験工房) オープン、運営受託
	平成19 (2007) 年 4月 第1回安田侃の「ここを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
	平成21 (2009) 年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
	平成22 (2010) 年 1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
	平成22 (2010) 年 4月 アルテ市民ポポロ制度発足
	平成25 (2013) 年 2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞
	平成26 (2014) 年 2月 認定NPO法人に認定される


アルテピアッツァ美唄のかけがえのない空間を次世代に伝えるためにNPO法人を設立し、今年10周年を迎えます。施設・環境・彫刻作品を適切に維持管理し、利活用する運営を行い、地域の芸術文化活動の振興を図り炭鉱の歴史を後世に伝え、21世紀の地域創造に寄与することを定款に謳いました。指定管理者としての施設の管理運営はもとより、「ここを彫る授業」「炭山 (ヤマ) の記憶」などの自主事業についても、継続的な取り組みを重ねてきました。また、昨年所轄庁より認定NPO法人としての認定をうけたことから、寄附者の税制優遇などのメリットを活用した活動資金の調達をすすめ、「アルテ文庫」の創設に漕ぎ着けました。

平成27 (2015) 年度は、アルテピアッツァ美唄を地域の芸術文化活動や社会教育の拠点として一層の活用をはかる事業を新たに始めるとともに、美術館としての教育普及事業の充実に向けて検討をすすめます。また、老朽化が進む施設の再整備計画の策定・実現に協働して取り組みます。

皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

アルテ市民 ポポロ アルテピアッツァ美唄のかけがえのない空間を守り、「ここをふるさと」として次世代につなげていきます。

	アルテ市民 popolo	団体会員								
内 容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。									
会員になると	<ul style="list-style-type: none"> ●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在 (いま) を知ることができます。 ●ポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。 	 ※26年度市民証								
金 額	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会費 <table border="0"> <tr> <td>ポポロ</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>コポポロ (中学生以下)</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>美唄ポポロ (美唄在住の方)</td> <td>500円</td> </tr> </table> ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	ポポロ	3,000円	コポポロ (中学生以下)	500円	美唄ポポロ (美唄在住の方)	500円	<ul style="list-style-type: none"> ●団体会費 <table border="0"> <tr> <td>団体会員 一口</td> <td>30,000円</td> </tr> </table> ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	団体会員 一口	30,000円
ポポロ	3,000円									
コポポロ (中学生以下)	500円									
美唄ポポロ (美唄在住の方)	500円									
団体会員 一口	30,000円									

●団体会員

有限会社東オートセンター	宗教法人長延寺	北星学園大学
株式会社岸本組	医療法人はまなす	北海道クリーン・システム株式会社
学校法人光塩学園	東戸公認会計士事務所	医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院
札幌アルト株式会社	美唄市医師会	北海道中央労災病院せき損センター
札幌通運株式会社さくらスマイル引越センター	美唄市議会議員会	村松法律事務所
株式会社シー・アイ・エス計画研究所	美唄匠の会	有限会社 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE
玉田産業株式会社	広瀬建設工業株式会社	他 1社

(2015年3月31日現在)

アルテピアッツァ美唄 施設概要

アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻公園です。

公園には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。

炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。



アルテピアッツァ美唄のあゆみ

- 1991年 閉校した旧栄小学校の体育館を交流スペース、アートのスペースに改修。
 - 1992年 7月、野外スペースを整備し、アルテピアッツァ美唄としてオープン。「真無」「吹雪」など5作品を野外に展示。
11月、アートのスペースで初めての演奏会を開催。
 - 1997年 水の広場開設。「天聖」「天沃」などを設置。
 - 1998年 旧栄小学校の校舎改修。
 - 1999年 旧栄小学校2階にギャラリーを開設。
 - 2001年 10月、北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞受賞。
 - 2002年 5月、安田侃さんが「第十五回村野藤吾賞」受賞。受賞対象作品が「アルテピアッツァ美唄」。
 - 2003年 7月、天皇后両陛下、アルテピアッツァ美唄を行幸啓。
 - 2006年 4月、指定管理者制度により、NPO法人アルテピアッツァびばいが管理運営を開始。
 - 2007年 4月、スタジオアルテ、カフェアルテがオープン。スタジオアルテでは、毎月、こころを彫る授業を開催。
 - 2010年 6月、音の広場に「真無」を設置。
 - 2012年 7月、アルテピアッツァ美唄20周年記念安田侃作品展「触れる」を開催。
- 現在、野外・ギャラリー・カフェ・アートのスペースを合わせて約40点の作品を展示している。

- 開館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料
- 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月5日
- 交通
電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より75分。
美唄駅下車、市民バス「アルテピアッツァ
美唄」行きで約20分。
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより40分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>